

第2次石巻市総合計画 後期基本計画 骨子案

第Ⅰ編 総合計画について

第1章 はじめに

- (1) 計画策定の背景
- (2) 計画の構成及び期間

第2章 基本構想

- (1) 将来像
- (2) 土地利用の方針

第3章 前期基本計画の総括

- (1) 市の現状
- (2) 市民満足度調査
- (3) 前期基本計画の達成度評価
- (4) 計画策定の課題

第Ⅱ編 後期基本計画

序章 後期基本計画の構成

- 第1章 住民同士の絆・支え合いで安全安心に暮らせるまち
- 第2章 都市と自然が調和し快適とやすらぎが生まれるまち
- 第3章 共に支え合い誰もが生きがいをもち自分らしく健康に暮らせるまち
- 第4章 多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち
- 第5章 豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち
- 第6章 市民の声が共鳴し市民と行政が共に創るまち

第Ⅲ編 地方創生の取組

第1章 人口戦略の推進

第2章 未来都市の実現

第Ⅳ編 地区別将来展望

参考資料

第Ⅰ編 総合計画について

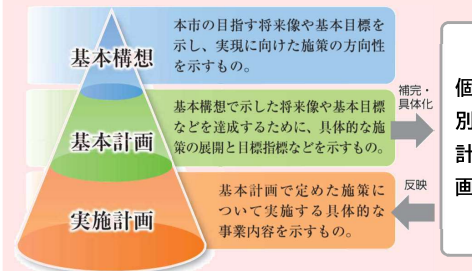
第1章 はじめに

(1) 計画策定の背景

- 本市の最上位計画である「第2次石巻市総合計画前期基本計画」(以下「前期基本計画」という。)が令和7年度をもって計画期間満了となることから、令和8年度を始期とする「第2次石巻市総合計画後期基本計画」(以下「後期基本計画」という。)を策定する。

(2) 計画の構成及び期間

- 総合計画は「基本構想」「基本計画」及び「実施計画」の3層構造で構成される。
- 今回策定する基本計画は、基本構想で示した将来像や基本目標などを達成するために、具体的な施策展開と目標指標を示すものとなる。
- 後期基本計画の期間は令和8年度から 令和12年度までとなる。



※実施計画は毎年度ローリング方式で見直し

第2章 基本構想(令和3年度～令和12年度)

(1) 将来像

ひとりひとりが 多彩に煌めき
共に歩むまち

- 多種多様な人々が、各自の“力・個性”を輝かせ、個々の輝きが相まって「煌めく」ことにより“まちに活力が溢れ、素晴らしいまち”になる。
- 本市の豊かで「多彩」な資源が、人々に活用され「煌めく」ことにより、“多くの魅力を持った活力溢れるまち”になる。
- 考え方や、個性も違う個人が「共に歩む」ことで、“誰一人取り残されることのない、安全で安心な共生社会”が実現されている。

(2) 土地利用の方針

1 都市機能がコンパクトに整った集約型市街地の形成

2 臨海部における産業系土地利用の推進

3 住宅市街地における生活環境の充実

4 農地・山林・水辺の保全

5 持続的な地域生活圏の形成

6 本市を代表する自然環境の保全

※基本構想は、10年間の計画期間のため、改訂は行わない。

第Ⅰ編 総合計画について

第3章 前期基本計画(令和3年度～令和7年度)の総括

(1)時代の潮流 ～100年・200年に一度の産業構造の大転換期～

1 社会情勢と安全保障の変化

令和2年以降、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の拡大と収束が繰り返され、感染拡大時には移動制限や外出自粛が求められるなど、社会・経済活動に大きな影響をもたらした。

また、令和4年にはロシアによるウクライナ侵攻が発生し、国際情勢を大きく揺るがした。これに起因するエネルギーや食料品の価格高騰が、国内経済にも影響を及ぼしている。

2 DX(デジタル・トランスフォーメーション)の加速

デジタル技術の急速な進展により、社会全体でデジタル・トランスフォーメーション(DX)が加速している。行政分野においては、デジタル田園都市国家構想のもと、自治体DXが推進されており、住民サービスのオンライン化や業務効率化が進展している。

また、生成AIの普及が急速に広がり、行政の業務改善や住民の利便性向上に新たな可能性をもたらしている。一方で、個人情報の保護やデジタル格差への対応も求められている。

3 地球温暖化への対応

地球温暖化への対応は、持続可能な社会を実現するための重要な課題となっている。国は2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、再生可能エネルギーの導入拡大やグリーン・トランスフォーメーション(GX)に取り組んでいる。

自治体においても、再生可能エネルギーの導入促進、省エネ対策、脱炭素型のまちづくりが求められている。

4 多様性と包摂性への対応

近年、多様性を尊重し、誰もが活躍できる社会の実現が求められている。女性や高齢者、障がい者、外国人など、多様な背景を持つ人々が共生できる環境整備が重要である。

また、コロナ禍を契機に、テレワークやリモートワークが普及し、働き方が多様化した。ウィズコロナ期以降は、二地域居住やワーケーションといった新たなライフスタイルも広がっている。これに伴い、多様で柔軟な働き方を支える就労環境づくりが求められている。

5 防災・減災とレジリエンス強化

近年、全国各地で頻発する地震や豪雨などの自然災害に対し、防災・減災対策の一層の強化が求められている。

6 人口減少の進行

少子高齢化に伴う人口減少が進行し、地域社会の担い手不足が深刻化している。特に、生産年齢人口の減少は、地域経済や地域コミュニティに大きな影響を与えている。

また、高齢者の増加に伴い、医療・介護需要が増大しており、持続可能な福祉施策の充実が求められている。

(2)前期基本計画の評価(令和6年度実施分)

- 令和5年度における施策への評価は、「A(順調)」13節、「B(概ね順調)」6節、「C(やや遅れ)」9節であり、「D(遅れ)」の評価となった節はなかった。(全28節)
- 前年度(令和4年度)から評価が下がった節は4節あり、そのうち3節が第3章(健康・福祉・医療分野)の施策であった。

■施策評価「C(やや遅れ)」の項目

章	節
第1章 住民同士の絆・支え合いで安全安心に暮らせるまち	1 共生型社会に向けた地域コミュニティ活動活性化の充実 4 誰もが平等に生きるための男女共同参画社会の推進
第2章 都市と自然が調和し快適とやすらぎが生まれるまち	2 持続可能な社会を目指すごみの減量化と資源循環の推進 3 安全安心な住環境と都市機能の整備の推進
第3章 共に支え合い誰もが生きがいを持ち自分らしく健康に暮らせるまち	2 生きがいをもち自分らしく暮らせる高齢者福祉の充実 5 みんなが共に支え合う地域共生社会の実現
第4章 多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち	1 賑わいと活気にあふれる商工業の振興 3 魅力的な農林水産業の振興
第6章 市民の声が共鳴し市民と共に創るまち	2 持続可能な行財政運営の推進

(4)市民満足度の調査

- 調査期間:令和6年6月13日～同年7月31日
- 調査手法:インターネット調査
- 回収結果:市内1,694件 市外38件
- 調査目的:市民の市政に対する満足度及び重要度を把握し、まちづくりの参考にするために実施。
- 調査内容:前期基本計画策定時の調査項目をベースに、6分野計61の項目について、満足度と重要度を調査。
- 結果:満足度と重要度の点数を基に4つの区分に分類。市民が重要度は高いと思っている一方、満足度は低いと感じている『重点改善』は、右記17項目が分類された。

(5) (1)～(4)を踏まえた後期計画で重点的に取り組む施策

人口減少抑制

人口減少は経済や市場規模の縮小、地域社会の担い手不足など、様々な影響を与えることから、引き続き対策が必要。

安心して住み・働ける環境

若者、女性、高齢者など誰もが安心して住み・働ける生活環境の構築が必要。

(3)データに基づく現状の分析

客観的なデータに基づき、本市の現状分析を実施した。

- 人口減少・少子高齢化の著しい進行【人口】
- 転出超過の中でも、顕著な若者の転出【人口】
- 全国平均・宮城県平均を上回る空き家率【都市】
- 宮城県平均を下回る平均寿命・健康寿命【健康】
- 震災前からほぼ半減した卸売・小売業事業所数【商工業】
- 全国平均を下回る学力水準【教育】
- 類似団体に比べて高く推移する経常収支比率【行財政】

■年齢区分の人口の推移



■「重点改善」17項目

分野	項目名
1.市民生活	交通安全や防犯などの安全対策 女川原子力発電所の安全対策・情報公開 災害発生時の応急・復旧対策(ライフラインや食料確保など)の構築 公共交通ネットワークの整備
2.自然と都市	歩道の整備
3.健康と福祉	医療体制の充実 地域福祉を担う人材の確保・育成 地域での見守り体制・子育て機能の充実
4.産業	商工業の振興 観光の振興 企業誘致や新たな産業創出 販路拡大や人材確保など地元企業の育成 柔軟な働き方ができる職場環境の整備
5.教育	教員の指導力の向上 学力向上への取組
6.行財政	石巻市政の情報公開による透明性の確保 行政運営や財政運営の効率化

稼ぐ地域づくり

地域資源・産業を活かした競争力強化や農林水産業の成長産業化の推進、地域の魅力のブランド化が必要。

多様な人材の活躍

教育の充実や学び直しの機会の確保、誰もが能力を発揮できる環境の整備が必要。

第Ⅱ編 後期基本計画

- 基本構想で定めた将来像を実現するため、前期基本計画を踏まえた後期基本計画の施策体系を以下のとおり設定します。

第2章 基本構想

(1)将来像

ひとりひとりが 多彩に煌めき
共に歩むまち

(2)土地利用の方針

1 都市機能がコンパクトに整った集約型
市街地の形成

2 臨海部における産業系土地利用の推進

3 住宅市街地における生活環境の充実

4 農地・山林・水辺の保全

5 持続的な地域生活圏の形成

6 本市を代表する自然環境の保全

第3章 前期基本計画の総括

後期計画で重点的に取り組む施策

人口減少抑制

稼ぐ地域づくり

安心して住み・働ける環境

多様な人材の活躍

後期基本計画 施策体系

章	節	目指す姿	細 節
第1章 住民同士の絆・支え合 いで安全安心に暮ら せるまち	1 共生型社会に向けた地域コミュニティ活動活性化の充実	多くの住民参加により、地域コミュニティが活性化して いるまち	1 多様な主体による地域活動を推進する 2 地域における住民同士の繋がりを持続する
	2 少子高齢化社会に対応する移住・定住の促進	住み続けるまち、住み続けたいまち	1 若者の移住を促進する 2 若者の定住を促進する
	3 安心して暮らすための地域防災力などの向上	自助・共助・公助の取組による災害に強い安全安心なま ち	1 地域防災力の向上を図る 2 防災情報の伝達手段の多様化を図る
	4 誰もが平等に生きるための男女共同参画社会の推進	誰もがともにいきいきと、個性と能力を発揮できるまち	1 多様で柔軟な働き方を選択しやすい就労環境づくりを促進する 2 家庭生活における男女共同参画を推進する
	5 持続可能な公共交通ネットワーク整備の推進	未来に向けた持続可能な公共交通サービスが実現する まち	1 通勤に利用しやすい公共交通システムの構築を図る 2 日常の移動手段として選ばれる公共交通を確立する
	6 未来につなぐ震災伝承の推進	東日本大震災による深い傷跡、悲しみの記憶及び震災を 通じて得た教訓を風化させることなく後世に伝えるまち	1 震災伝承を推進する 2 伝承活動の担い手を育成する
第2章 都市と自然が調和し 快適とやすらぎが生 まれるまち	1 豊かな自然環境の保全・生活環境の充実	地球環境を守る脱炭素のまち	1 自然環境を保全する 2 再生可能エネルギーの利用を促進する
	2 持続可能な社会を目指すごみの減量化と資源循環の推進	公衆衛生の向上を図り、良好な都市環境を形成するまち	1 ごみ減量化を推進する 2 再資源化を推進する
	3 安全安心な住環境と都市機能の整備の推進	誰もが安心・快適に住み続けられるまち	1 住みよいまちづくりを推進する
第3章 共に支え合い誰もが 生きがいを持ち自分 らしく健康に暮らせる まち	1 安心して妊娠・出産・子育てができる環境の充実	こども・子育てにやさしいまち	1 安心してこどもを子育てできる環境を整備する 2 こどもと子育て家庭を支える環境を整備する
	2 生きがいを持ち自分らしく暮らせる高齢者福祉の充実	生きがいと役割を持って、自分らしく健やかに安心して 暮らせるまち	1 高齢者の生きがいと介護予防等の取り組みを推進する 2 在宅生活を継続するための生活支援体制を整備する
	3 共に安心して暮らせる障害福祉の充実	誰もが認めあい、支え合いながら、安心して自分らしく 暮らせる共生のまち	1 障害者への理解を深める 2 相談支援体制を構築する
	4 誰もが元気に暮らせる心と体の健康づくりの推進	健康で笑顔があふれるまち	1 心と体の健康づくりを推進する 2 地域医療提供体制を充実させる
	5 みんなが共に支え合う地域共生社会の実現	いつも自分らしく生きるためにみんなで支え合うまち	1 身近なことの変化に気づくことができる地域づくりを促進する 2 地域におけるつながりを創出する
第4章 多彩な人材が活躍し 誇りと活気にあふれ るまち	1 賑わいと活気にあふれる商工業の振興	地域経済を支える商工業の振興が図られるまち	3 安心して健やかな暮らしを支える体制を整える 1 企業活動の活性化を促進する 2 中心市街地の活性化を推進する
	2 持続可能な漁業・水産加工業の振興	水産物の安定供給と水産業の健全な発展を目指すまち	1 水揚量の維持と確保を図る 2 水産加工品の流通を強化する
	3 魅力的な農林畜産業の振興	持続可能な農林畜産業の振興が図られるまち	1 持続可能な農業経営体を育成する 2 豊かな農村環境の再生を推進する
	4 地域資源を活かした観光事業の振興	地域資源を活かした観光事業の振興が図られるまち	1 地域資源を活用した観光誘客を推進する 2 周遊観光の促進と滞在時間の延伸を図る
	5 企業誘致の推進と新たな産業の創出	自分らしい生き方ができて、生産性が向上し、稼ぐ力のあるまち	1 企業立地を促進する 2 新規創業を促進する
	6 未来の産業を担う人材の確保と育成	若者が働きがいを感じるまち	1 地元雇用の増加を図る
第5章 豊かな心を育みいのち を未来につなぐまち	1 安全に安心して学ぶための教育環境整備の推進	安全・安心な教育環境が整備されたまち	1 快適な学習環境の向上と充実を図る
	2 社会を生き抜く力を育てる学校教育の充実	社会の変化に主体的に対応し、自ら考えて判断・行動する「社会を生き抜く力」を持った人を育成するまち	1 学校教育の充実により学力向上を図る 2 児童生徒の豊かな心の育成を図る 3 就学等に係る支援を図る
	3 いのちを守る防災教育の推進	児童生徒が確実な自らの命を守り抜く、災害対応力が向上しているまち	1 防災教育の充実を図る
	4 地域ぐるみで子どもを育てる教育活動の推進	地域ぐるみで子どもを育てるまち	1 地域で支える教育活動を推進する 2 青少年の健全な成長と郷土愛をはぐくむ
	5 豊かな地域社会を育む生涯学習の推進	心豊かなうおいのあるまち	1 市民の学習意欲の向上を図る
	6 生涯にわたるスポーツ活動の推進	生涯スポーツ社会を実現するまち	1 スポーツの持つ力を活かし、健康づくりを推進する
第6章 市民の声が共鳴し市民 と行政が共に創るまち	1 市民に寄り添い信頼される行政運営の推進	市の行政運営が市民に信頼されているまち	1 市民と市の相互理解を推進する 2 市民サービスの利便性の向上を図る
	2 持続可能な行財政運営の推進	人口規模及び歳入規模に見合った行財政運営が推進されているまち	1 健全で持続可能な財政運営を行う 2 効率的かつ効果的な行政運営を行う

SDGs との関係

- SDGs の理念に基づき持続可能な社会を目指して設定した「2030 年のあるべき姿」を後期基本計画に取り入れ、一体的に推進する。

地域経済活性化の実現

安心して暮らせるための災害に強いまちの実現

脱炭素社会・循環型社会の実現

第1章 住民同士の絆・支え合いで安全安心に暮らせるまち

第1節 共生型社会に向けた地域コミュニティ活動活性化の充実

【目指す姿】多くの住民参加により、地域コミュニティが活性化しているまち

KGI 主 観：地域コミュニティ活動が活性化していると感じる市民の割合[単年]
客 観：なし

1 多様な主体による地域活動を推進する

KPI 地域における交流事業への参加割合[単年]

2 地域における住民同士の繋がりを維持する

KPI 町内会・自治会への加入率[単年]

第2節 少子高齢化社会に対応する移住・定住の促進

【目指す姿】住みたくなるまち、住み続けたいとなるまち

KGI 主 観：今後も石巻市に住み続けたいと思っている市民の割合[単年]
客 観：社会増減率[単年]

1 若者の移住を促進する

KPI 転入者のうち20歳から39歳の割合[単年]

2 若者の定住を促進する

KPI 転出者のうち20歳から39歳の割合[単年]

第3節 安心して暮らすための地域防災力などの向上

【目指す姿】自助・共助・公助の取組による災害に強い安全安心なまち

KGI 主 観：地域の防災対策が推進されていると感じる市民の割合[単年]
客 観：災害に備えて備蓄(飲料水・食糧)をしている家庭の割合[単年]

1 地域防災力の向上を図る

KPI 防災訓練参加率[単年]

2 防災情報伝達手段の多重化を図る

KPI 防災情報サービス登録者数[単年]

第4節 誰もが平等に生きるための男女共同参画社会の推進

【目指す姿】誰もがともにいきいきと、個性と能力を発揮できるまち

KGI 主 観：男女共同参画社会が推進されていると感じる市民の割合[単年]
客 観：女性の就業率(18歳～69歳)[単年]

1 多様で柔軟な働き方を選択しやすい就労環境づくりを促進する

KPI イクボス宣言企業数[単年]

2 家庭生活における男女共同参画を推進する

KPI 男性の1日当たりの家事参画(1時間以上)率[単年]

第5節 持続可能な公共交通ネットワーク整備の推進

【目指す姿】未来に向けた持続可能な公共交通サービスが実現するまち

KGI 主 観：公共交通利用者の内、公共交通に満足している市民の割合[単年]
客 観：公共交通利用回数(市民1人当たり)[単年]

1 通勤に利用しやすい公共交通システムの構築を図る

KPI 路線バス・鉄道の就業者人口カバー率[単年]

2 日常の移動手段として選ばれる公共交通を確立する

KPI 公共交通を利用して外出した市民の割合[単年]

第6節 未来につなぐ震災伝承の推進

【目指す姿】東日本大震災による深い傷跡、悲しみの記憶及び震災を通じて得た教訓を風化させることなく後世に伝えるまち

KGI 主 観：震災を後世に伝える取組が充実していると感じる市民の割合[単年]
客 観：なし

1 震災伝承を推進する

KPI 震災遺構来訪者数[単年]

2 伝承活動の担い手を育成する

KPI 語り部・伝承者育成講座受講者数[単年]

第2章 都市と自然が調和し快適とやすらぎが生まれるまち

第1節 豊かな自然環境の保全・生活環境の充実

【目指す姿】地球環境を守る脱炭素のまち

KGI 主 観：多くの自然や生物に恵まれていると思う市民の割合[単年]
客 観：年間CO2排出量[単年]

1 自然環境を保全する

KPI 環境に配慮した生活を行っていると回答した市民の割合[単年]

2 再生可能エネルギーの利用を促進する

KPI 再生可能エネルギーによる発電量[単年]

第2節 持続可能な社会を目指すごみの減量化と資源循環の推進

【目指す姿】公衆衛生の向上を図り、良好な都市環境を形成するまち

KGI 主 観：ごみの減量化・リサイクルが推進されていると感じる市民の割合[単年]
客 観：市民一人一日あたりのごみ排出量[単年]

1 ごみ減量化を推進する

KPI 市民一人一日あたりの生ごみ排出量[単年]

2 再資源化を推進する

KPI 家庭系ごみリサイクル率[単年]

第3節 安全安心な住環境と都市機能の整備の推進

【目指す姿】誰もが安心・快適に住み続けられるまち

KGI 主 観：都市環境が充実し、暮らしやすいと感じる市民の割合[単年]
客 観：なし

1 住みよいまちづくりを推進する

KPI 住環境及び都市機能の整備に対して満足している市民の割合[単年]

第1節 安心して妊娠・出産・子育てができる環境の充実

【目指す姿】こども・子育てにやさしいまち

KGI

主 観：妊娠・出産・子育てができる環境が充実していると感じる市民の割合[単年]
客 観：0歳～39歳年度末人口[単年]

1 安心してこどもを生み育てられる環境を整備する

KPI

出生数(年度末0歳人口)[単年]

2 こどもと子育て家庭を支える環境を整備する

KPI

保育施設及び放課後児童クラブ待機児童数[単年]

第2節 生きがいを持ち自分らしく暮らせる高齢者福祉の充実

【目指す姿】生きがいと役割を持って、自分らしく健やかに安心して暮らせるまち

KGI

主 観：高齢者福祉が充実していると感じる40歳以上の市民の割合[単年]
客 観：なし

1 高齢者の生きがいと介護予防等の取組を推進する

KPI

要支援・要介護認定率(65歳以上)[単年]

2 在宅生活を継続するための生活支援体制を整備する

KPI

在宅生活高齢者率[単年]

第3節 共に安心して暮らせる障害福祉の充実

【目指す姿】誰もが認めあい、支えあいながら、安心して自分らしく暮らせる共生のまち

KGI

主 観：障害者にやさしいまちづくりが推進されていると感じる市民の割合[単年]
客 観：なし

1 障害への理解を深める

KPI

障害のある方の立場を理解して行動ができて市民の割合[単年]

2 相談支援体制を構築する

KPI

障害者のサービス利用相談に対してサービス利用への繋げた割合[単年]

第4節 誰もが元気に暮らせる心と体の健康づくりの推進

【目指す姿】健康で笑顔があふれるまち

KGI

主 観：心と体の健康づくりが推進されていると感じる市民の割合[単年]
客 観：健康寿命[単年]

1 心と体の健康づくりを推進する

KPI

メタボリックシンドローム該当者及び予備群の割合(40歳～69歳・市町村国保・協会けんぽ被保険者)[単年]

2 地域医療提供体制を充実させる

KPI

市内医療機関数の対人口10万人あたりの割合(病院・診療所)[単年]

第5節 みんなが共に支え合う地域共生社会の実現

【目指す姿】いつも自分らしく生きるためにみんなで支え合うまち

KGI

主 観：地域で支え合いが行なわれていると感じる市民の割合[単年]
客 観：なし

1 身近なことの変化に気づくことができる地域づくりを促進する

KPI

近所で困りごとの相談ができる・会えば立ち話をする人がいる市民の割合[単年]

2 地域におけるつながりを創出する

KPI

困りごとの相談者が誰もいない・思いつかないと回答した市民の割合[単年]

3 安心して健やかな暮らしを支える体制を整える

KPI

地域で助け合いの意識が全体的にある・部分的にあると回答した市民の割合[単年]

第1節 賑わいと活気にあふれる商工業の振興

【目指す姿】地域経済を支える商工業の振興が図られるまち

KGI

主 観：商工業が充実していると感じる市民の割合[単年]
客 観：総生産額(第2次・第3次産業)[単年]

1 企業活動の活性化を促進する

KPI

法人市民税調定額[単年]

2 中心市街地の活性化を推進する

KPI

歩行者・自転車通行量(18地点)[単年]

第2節 持続可能な漁業・水産加工業の振興

【目指す姿】水産物の安定供給と水産業の健全な発展を目指すまち

KGI

主 観：水産業が充実していると感じる市民の割合[単年]
客 観：漁業生産額及び水産加工品出荷額[単年]

1 水揚量の維持と確保を図る

KPI

石巻市水産物地方卸売市場及び漁協共販水揚量[単年]

2 水産加工品の流通を強化する

KPI

水産加工品出荷量[単年]

第3節 魅力的な農林畜産業の振興

【目指す姿】持続可能な農林畜産業の振興が図られるまち

KGI

主 観：農林畜産業が充実していると感じる市民の割合[単年]
客 観：農業産出額[単年]

1 持続可能な農業経営体を育成する

KPI

認定農業者数(法人)[単年]

2 豊かな農村環境の再生を推進する

KPI

耕地面積(田、畑)[単年]

第4節 地域資源を活かした観光事業の振興

【目指す姿】地域資源を活かした観光事業の振興が図られるまち

KGI

主 観：地域資源を活かした観光業が充実していると感じる市民の割合[単年]
客 観：観光客入込数による経済波及効果額[単年]

1 地域資源を活用した観光誘客を推進する

KPI

観光客入込数[単年]

2 周遊観光の促進と滞在時間の延伸を図る

KPI

宿泊観光客数[単年]

第5節 企業誘致の推進と新たな産業の創出

【目指す姿】自分らしい生き方ができて、生産性が向上し、稼ぐ力のあるまち

KGI

主 観：新たな雇用が創出されていると感じる市民の割合[単年]
客 観：市の事業により創出された雇用人数(企業立地による新規雇用者、新規事業者及びその従業員の和)[単年]

1 企業立地を促進する

KPI

市の事業による企業立地件数(新設、増設、移設)[単年]

2 新規創業及び第二創業を促進する

KPI

市の事業による新規創業及び第二創業件数[単年]

第6節 未来の産業を担う人材の確保と育成

【目指す姿】若者が働きがいを感じるまち

KGI

主 観：未来の産業を担う人材の確保と育成に関する取組が充実していると感じる市民の割合[単年]
客 観：市の事業により創出された就業者の5年定着率(企業立地による新規雇用者、新規事業者及びその従業員の和)[単年]

1 地元雇用者の増加を図る

KPI

石巻専修大学、管内高校生の管内就職率[単年]

第1節 安全に安心して学ぶための教育環境整備の推進

【目指す姿】安全・安心な教育環境が整備されたまち

KGI

主 観：安全安心な教育環境が整備されていると感じる児童生徒の割合[単年]
客 観：なし

1 快適な学習環境の向上と充実を図る

KPI

校舎等整備事業実施件数[単年]

第2節 社会を生き抜く力を育てる学校教育の充実

【目指す姿】社会の変化に主体的に対応し、自ら考えて判断・行動する「社会を生き抜く力」を持った人を育成するまち

KGI

主 観：「学校に行くのは楽しい」と思う児童生徒の割合[単年]
客 観：全国学力学習状況調査正答率が全国平均以上の学校の割合[単年]

1 学校教育の充実により学力向上を図る

KPI

標準学力調査において、達成率が向上した児童生徒の割合[単年]

2 児童生徒の豊かな心の育成を図る

KPI

「自分には、よいところがある」と思う児童生徒の割合[単年]

3 就学等に係る支援を図る

KPI

就学支援に係る相談体制や対応が充実していると思う保護者の割合[単年]

第3節 いのちを守る防災教育の推進

【目指す姿】児童生徒が確実に自らの命を守り抜く、災害対応力が向上しているまち

KGI

主 観：防災教育が充実していると感じる市民の割合[単年]
客 観：各学校・園の避難訓練における総合評価Aの割合[単年]

1 防災教育の充実を図る

KPI

児童生徒の防災教育に対する理解度[単年]

第4節 地域ぐるみで子どもを育てる教育活動の推進

【目指す姿】地域ぐるみで子どもを育てるまち

KGI

主 観：地域ぐるみで教育活動が行われていると感じる市民の割合[単年]
客 観：19歳人口、23歳人口それぞれの社会増減数[単年]

1 地域で支える教育活動を推進する

KPI

地域に支えられていると感じる児童生徒の割合[単年]

2 青少年の健全な成長と郷土愛をはぐくむ

KPI

地域に愛着がある児童生徒の割合[単年]

第5節 豊かな地域社会を育む生涯学習の推進

【目指す姿】心豊かなうおいのあるまち

KGI

主 観：生涯学習に親しむ機会が充実していると感じる市民の割合[単年]
客 観：生涯学習に取り組んでいる市民の割合[単年]

1 市民の学習意欲の向上を図る

KPI

学習意欲が増した人の割合[単年]

第6節 生涯にわたるスポーツ活動の推進

【目指す姿】生涯スポーツ社会を実現するまち

KGI

主 観：スポーツに親しむ機会が充実していると感じる市民の割合[単年]
客 観：健康寿命[単年]

1 スポーツの持つ力を活かし、健康づくりを推進する

KPI

週1回以上スポーツを行う市民の割合(スポーツ実施率)[単年]

第1節 市民に寄り添い信頼される行政運営の推進

【目指す姿】市の行政運営が市民に信頼されているまち

KGI

主 観：信頼される行政サービスが行われていると感じる市民の割合[単年]
客 観：市民意識調査の回答率[単年]

1 市民と市の相互理解を推進する

KPI

市政への関心度[単年]

2 市民サービスの利便性の向上を図る

KPI

オンライン化の推進により、行政手続きが便利になったと思う市民の割合[単年]

第2節 持続可能な行財政運営の推進

【目指す姿】人口規模及び歳入規模に見合った行財政運営が推進されているまち

KGI

主 観：効率的な行財政運営が行われていると感じる市民の割合[単年]
客 観：経常収支比率[単年]

1 健全で持続可能な財政運営を行う

KPI

財政調整基金残高[単年]

2 効率的かつ効果的な行政運営を行う

KPI

石巻市職員定員適正化委計画における目標達成率[単年]

第Ⅲ編 地方創生の取組

第1章 人口戦略の推進

総合計画との一体的な取組

本市では、前期基本計画において、地方版総合戦略を「人口戦略」と位置づけ、総合計画と一体的に策定した。後期基本計画においても、引き続き「人口戦略」を総合計画と一体的に策定する。

デジタル田園都市国家構想を踏まえた新たな視点

国においては、デジタルの力を活用して地方創生を加速化・深化し、全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会を目指す「デジタル田園都市国家構想」の実現に向け、令和5年度を初年度とする5か年の「デジタル田園都市国家構想総合戦略」を新たに策定した。本市においても、当該戦略を勘案し、地方創生の取組を推進するものとする。

一方で、昨今示された「地方創生2.0」は、現時点において「基本的な考え方」が示された段階であり、令和7年夏に基本構想が策定される予定である。本市としても今後の動向を注視するが、現時点では本戦略へ十分に反映することが困難な状況である。

地域ビジョン(石巻市が目指す理想像)

本市では総合計画と一体的に策定することから、総合計画の将来像「ひとりひとりが 多彩に煌めき共に歩むまち」を地域ビジョンとして位置付け、4つの対応方針のもと、デジタルの力の活用を図りながら、分野横断的な施策の推進を目指す。



第2章 未来都市の実現

地方創生・地域活性化への貢献

令和2年7月に内閣府より「SDGs未来都市」に選定され、地方創生につながる自治体SDGsとして本市が定める「SDGs未来都市計画」に基づき、ステークホルダーとの連携のもと、経済・社会・環境の三側面に利益を循環させ自律的好循環を生み出しながら課題解決を図る取組を推進し、「地域経済活性化、災害に強いまち、脱炭素・循環型社会」の実現を目指す。

また、本市では、国内外での温室効果ガスの削減に向けた動きを踏まえ、令和5年(2023年)に「石巻市ゼロカーボンシティ宣言」を行っており、令和32年(2050年)までに市内における温室効果ガスの実質的排出量をゼロにする脱炭素社会の実現を目指す。この宣言を受け、脱炭素への取組を市政の重点施策に位置付け、全市的に進める。

第Ⅳ編 地区別将来展望

第1章 地区別将来展望について

地区別将来展望策定の目的

本市は、平成17年4月1日に1市6町が合併し、行政を身近なものとして市民生活の充実を図るため、本庁及び6つの総合支所(7つの地区)の体制でスタートした。

本市は広大な市域を有し、北上川流域に広がった市街地、田園、リアス式海岸の沿岸部などがあり、地勢的にも、産業や伝統芸能なども地域の風土に根ざした多種多様で魅力的な特性を有している。今後もその特性を活かしながら、個性を持ったまとまりのある地区として発展し、それぞれが一体的に結びつくことによって、より大きな魅力として創造していくことが望まれている。

そこで、各地区の現状を把握し、市全体の調和に配慮しつつも、それぞれ固有の課題を解決しながら、誰もが誇りの持てる望ましい方向を示し、将来の目指す地区の姿について明らかにすることを目的とする。



国(デジタル田園都市国家構想総合戦略)

デジタルの力を活用した 地方の社会課題解決

施策1 地方に仕事をつくる

スタートアップ・エコシステムの確立、中小・中堅企業DX(キャッシュレス決済、シェアリングエコノミー等)、スマート農林水産業・食品産業、観光DX、地方大学を核としたイノベーション創出 等

施策2 人の流れをつくる

「転職なき移住」の推進、オンライン関係人口の創出・拡大、二地域居住等の推進、地方大学・高校の魅力向上、女性や若者に選ばれる地域づくり 等

施策3 結婚・出産・子育ての 希望をかなえる

結婚・出産・子育ての支援、仕事と子育ての両立など子育てしやすい環境づくり、こども政策におけるDX等のデジタル技術を活用した地域の様々な取組の推進 等

施策4 魅力的な地域をつくる

教育DX、医療・介護分野DX、地域交通・インフラ・物流DX、まちづくり、文化・スポーツ、国土強靱化の強化等、地域コミュニティ機能の維持・強化 等

宮城県(新・宮城の将来ビジョン)

政策推進の「4本の柱」と 「8つのつくる」

基本方針1

富県宮城を支える県内産業の持続的な成長促進

- (1)全産業で、先進的取組と連携によって新しい価値をつくる
- (2)産業人材の育成と産業基盤の活用によって持続的な成長の基礎をつくる

基本方針2

社会全体で支える宮城の子ども・子育て

- (3)子ども・子育てを社会全体で切れ目なく応援する環境をつくる
- (4)社会を生き、未来を切りひらく力をはぐくむ教育環境をつくる

基本方針3

誰もが安心していきいきと豊かに暮らせる地域社会づくり

- (5)一人ひとりがいきいきと豊かに生活できる環境をつくる
- (6)健康で、安全安心に暮らせる地域をつくる

基本方針4

強靱で自然と調和した県土づくり

- (7)自然と人間が共存共栄する社会をつくる
- (8)世代を超えて安全で信頼のある強くしなやかな県土をつくる

デジタルの力の活用

本市人口戦略

ひとりひとりが 多彩に煌めき
共に歩むまち

対応方針1

安定した雇用を創出し稼ぐまちをつくる

地域産業の経営力強化と魅力ある産業づくり、担い手不足の解消に向けた人材確保を支援し、女性や高齢者等の誰もが働きやすい地域を目指す

対応方針2

絆を大切に人が集まるまちをつくる

関係人口から移住者へつながる取組を推進するとともに、地域への愛着を育む教育や専門人材の育成、企業誘致を推進し「石巻市に住みたい」と思える地域づくりを目指す

対応方針3

結婚・妊娠・出産・子育ての希望がかなうまちをつくる

若い世代の経済基盤の不安定解消、家庭内で支え合うライフスタイル形成に向けた改善を積極的に推進する

対応方針4

災害に強く安全安心に暮らせる魅力的なまちをつくる

身近な場所で日常の生活を充足できる機能の充実、豊かな地域資源を活かした地域の魅力開発や発信、災害に備えた環境整備と教育の充実により、住みながれた地域で暮らし続けられる地域づくりを目指す

国(地方創生2.0 基本的な考え方)

安心して働き、暮らせる地方の生活環境の創生

東京一極集中のリスクに対応した人や企業の地方分散

付加価値創出型の新しい地方経済の創生

デジタル 新技術の徹底活用

産官学金労官の連携など、国民的な機運の向上